



「健康経営」でビジネスの成果を 熊本テルサで第1回経営者交流会

健康経営推進パートナーの会 みゆきの里

▲ホテル熊本テルサで開かれた第1回経営者交流会には約70人の経営者らが参加した

▼テーブルごとに健康経営への取り組みを紹介した。写真は同席者へ取り組みを説明する富島理事長



▲スライドを使い労務管理の視点から健康経営を解説する穴井りゅうじ社会保険労務士事務所の穴井隆二代表



▲来賓あいさつする県健康づくり推進課の小夏香課長



▲世話役会長としてあいさつするみゆきの里の富島三貴理事長



▲講演する全国健康保険協会熊本支部の有働裕子企画総務グループ主任



▲閉会祝辞を述べる田中浩幸世話役副会長(㈱サンエス社長)

医療、介護・福祉事業を展開するみゆきの里(熊本市南区御幸笛田6丁目、富島三貴理事長)は7月5日、熊本市中央区のホテル熊本テルサで健康経営推進パートナーの会第1回経営者交流会を開催した。

2019年から「健康経営優良法人」の認証を取得、地域の企業・団体と共に実践の連携を図ろうと「健康経営推進パートナーの会」を今年2月に設立した。当日は富島理事長が「コロナ禍の中で和楽が閉鎖、代わりに何か健康づくりでお役に立てないか」ということで「健康経営」への取り組みを発想、パートナーの会を設立した。Webサイトを通じ情報発信し、ビジネスとしての成果を生み出せるよう皆さんと共に推進していきたい」とあいさつした。講演会では、全国健康保険協会熊本支部の有働裕子主任が「協会けんぽとのコラボヘルス」、穴井りゅうじ社会保険労務士事務所代表が「健康経営を労務管理の視点で見る」の演題でそれぞれ講演した。交流会ではテーブルごとに各社の取り組みを報告した。

(企画開発部・安田聖也)